

## 基本情報

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 施設名  | 株式会社小学館集英社プロダクション<br>小学館アカデミーなかやま保育園 |
| 所在地  | 横浜市緑区台村町 399                         |
| 電話番号 | 045 (9381) 5651                      |
| 評価年度 | 平成 27 年度                             |
| 評価機関 | 株式会社 R-CORPORATION                   |

## 評価方法

|  |  |
|--|--|
| 自己評価   |  |
| (実施期間)<br>平成 28 年 1 月 8 日～<br>平成 28 年 1 月 8 日  | 勉強会・研修   |
| 評価調査員による評価                                     |  |
| (実施期間)<br>平成 28 年 3 月 1 日<br>平成 28 年 3 月 2 日   | 評価調査者 2 名で、2 日間を通し、園内の視察、保育内容、子どもの観察、園長とのヒアリング及び書類確認により総合的に評価を行いました。1 日目、職員インタビュー 3 名に実施し、お昼は 4、5 歳児と食事を一緒に行い、食育の観察と共に保育士とのかかわりを観察しました。また、延長保育での子どもの様子を見学しました。2 日目は利用者本人調査を実施しました。 |
| 利用者家族アンケート                                     |  |
| (実施期間)<br>平成 28 年 1 月 6 日～<br>平成 28 年 1 月 20 日 | 利用者アンケート配布→投函  |
| 利用者本人調査  |  |
| (実施期間)<br>平成 28 年 3 月 2 日                      | 4 歳児、5 歳児対象に、園から選定された 11 名を各年齢ずつ 2 回にわけてそれぞれ 30 分、質問 6 項目のインタビューを実施し、意見を集計・分析し、子どもの姿を通じた園生活、保育士とのかかわり等を確認しました。   |

株式会社 R-CORPORATION

## 第三者評価結果報告書

| 《総括》      |                           |
|-----------|---------------------------|
| 対象事業所名    | 小学館アカデミーなかやま保育園           |
| 経営主体(法人等) | 株式会社 小学館集英社プロダクション        |
| 対象サービス    | 保育所                       |
| 事業所住所等    | 〒232-0016 横浜市緑区台村町 399    |
| 設立年月日     | 平成 24 年 4 月 1 日           |
| 評価実施期間    | 平成 28 年 1 月 ～ 平成 28 年 3 月 |
| 評価機関名     | 株式会社 R-CORPORATION        |
| 評価項目      | 横浜市版                      |

### 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）

#### ●概要

運営主体である、株式会社小学館集英社プロダクションは、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県に「小学館アカデミー保育園」を41ヶ所展開し、内、神奈川県（横浜市・川崎市）は、18ヶ所の保育園を運営しています。小学館アカデミー保育園は、保育理念である『「あったかい心」をもつ子どもに育てる』を全園で共有し、7つの基本方針をベースに、「学習保育」を中心した、保育環境（ラーニングセンター、みどりのあそび場、小学館ライブラリー）と、保育活動（遊び、生活）の両立を目指し、「あそび・せいかつ」から「まなび」へ導き、理念の実現に向けて保育を展開しています。保育理念に基づいた保育の内容の詳細は小学館アカデミー保育園のパンフレットに写真・イラスト等で分かりやすく記載され（ホームページからも閲覧可能）、各項目とも詳細、精緻せいじつに組み立てられており、法人のポリシーが各項目に溢れています。これらの取り組みは、職員教育で意思統合を図り、保育プログラムと環境を大切にした小学館アカデミー保育園を展開しています。

#### ●小学館アカデミーなかやま保育園をとりまく環境

この辺りは、JR横浜線沿線の住宅地として近年、発展が著しい地域であり、横浜線沿線は途中の私鉄（京王線、小田急線、田園都市線、東横線）の利用で横浜、東京間とのアクセスが向上し、横浜線にも急行が運行され、住宅地として注目され、活気ある地域です。園舎は、2階建ての建物で、保育園機能として恵まれた造りとなっており、1階は乳児保育室（0歳～2歳児）がそれぞれ3室設けられ、調理室、事務室となっています。2階は幼児保育室（3歳～5歳児）各部屋3室と、面談室、職員の更衣室が備えられた構成になっています。小学館アカデミーなかやま保育園には園庭があり、丘陵の中腹の立地が活かされ眺望も良く、近隣には畑も残る環境に恵まれた保育園です。定員60名のところ、現在、待機児童枠を加味して71名を受け入れ、4月からは77名になる予定です。

### 《優れている点》

#### 1. まだまだ進化を続ける学習保育

前年度の優れた点では、学習保育のレシピと発表会が挙げられました。さらに、学習保育の進め方を工夫して、各保育園で保育のプログラムとして実施した事例を発表会で選定し、

2年分のレシピ集が作成されていました。このレシピ集は、学習保育の幅・高さを大きく広げ、内包するプログラムが多岐に渡り、進化しています。今年度は、全小学館アカデミー保育園で学習保育の系列化に取り組んでいます。それは大きく学習保育を3つの大きなプログラム（①コミュニケーションプログラム、②リズム・運動プログラム、③ネイチャープログラム）に分け、小学館アカデミー保育園の保育の大綱を固めていく意向です。その中身は、コミュニケーションプログラムの中に、「ことば」の豊かさを身につけること、「本育」なども含まれており、3つの大分類に次ぐ中分類個々のカリキュラムの充実が図られていることが見えます。特に、出版大手の法人として推し進める「本育」が今後さらに進化されていくのか、大きく期待されます。

## 2. 職員の資質向上に向けた「30秒の誓い」と3H活動の推進

全小学館アカデミー保育園では、今年度の方針として、「子どもと自分を守る30秒の誓い」と、「3H活動の推進」を進めています。この2つの活動は、子どもに止まらず、一人一人の職員にも向けた活動であることが特徴です。「子どもと自分を守る30秒の誓い」では、①人数のチェック（活動の区切り、区切りで員数の確認）、②環境と変化のチェック（子ども、保育士、スケジュールの変化確認）、③危機発生時には、「冷静」、「落ち着き」、「自分の5感」の3つにより子どもを守り、また、子どもを守ると共に、職員自身の保育活動を守ります。「3H活動の推進」では、3Hとは、「褒める」、「広げる」、「励ます」のスリーワードであり、保育の場面で子どもに対して「3H」を進めると同時に、職員同士でもスリーワードを上司、先輩・後輩、同僚の間で展開していきます。これにより、保育の質の向上が図られ、活動を進めることにより職員全体のボトムアップが期待され、今年度の目標として推進し、小学館アカデミー保育園全園で展開しています。

## 3. 常設ひろば事業の受託

小学館アカデミーなかやま保育園では、今年度3月より緑区の子育てひろばの事業の一端の委託を受け、「常設ひろば事業」を開設しました。子育てひろばとは、就学前の児童とその養育者を対象に、横浜市の認定こども園・保育所で、園の施設や人材を活かした地域の子育てを支援するもので、地域で子育てをしている保護者や子どもたちが楽しく過ごせるように、園庭を開放したり、育児講座や交流保育などを実施していきます。子育て中の母親と一緒に話しをしたり、仲間作りの輪も広がります。緑区での常設園は、公立園2園と小学館アカデミーなかやま保育園の計3園のみで、特に、民間園として横浜市、緑区の事業に貢献することで、地域の知名度と信頼性が増すことが期待されます。今回の第三者評価調査日が常設園開設の初日であり、緑区の職員が視察に訪問されており、地域への貢献に期待されます。

### 〈さらに改善を要する点〉

#### 1. 「本育」への期待

小学館アカデミー保育園が推進する学習保育の中に「本育」があります。「本育」の内容は、1日1回の読み聞かせタイムと、小学館ライブラリーの活用が現状であり、一般の保育園も実施している内容と同じでもあり、法人の事業体として教育を一つの柱とされていることを踏まえ、「本育」が取り込まれることに「教育」との関連性や、本育での意味合いの裏付けなる何か・展開、があると、大きな期待が膨らむことは否めません。世間での本離れが喧伝される中で、子どもたちに「本」に興味と“わくわく感”を持たせることは

活字、マスメディアを本業とされる法人の使命とも思われます。アイデア・工夫、若しくは多くのラインアップがされるのではと昨年も期待しましたが、現在のところ目覚ましいものは見えていません。楽習保育のレシピのような画期的なアイデアと同様、是非、「わくわくをつくろう」に則り、「本育」の展開を期待しています。



|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 小学館アカデミーなかやま保育園 様 |                    |
| 評価年度              | 27 年度              |
| 評価機関              | 株式会社 R-CORPORATION |



## 横浜市福祉サービス第三者評価結果

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能  
 領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

### 評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

| 評価分類  | 評価の理由(コメント)   |
|---|---|
| <p>I - 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育理念・基本方針は、小学館アカデミー保育園全園共通で展開し、『「あったかい心」をもつ子どもに育てる』であり、7つの基本方針『「思いやり」・「生きる力」・「好奇心」・「経験、体験」・「得意」・「ことば」の美しさ、楽しさ・「地域との関わり」』を大切にして、保育サービスを提供しています。小学館アカデミーなかやま保育園では、理念に沿った保育の流れを作るための展開・手法に取り組み、常に目にする場所に掲示し、職員に対しては、毎月の職員会議後に研修および、グループワークの機会を設け、理解を深めています。例えば、理念の「あったかい心」とは、をテーマにグループワークを行い、共通認識を図り、話し合いを通じて、意識して行動できる体制を進めています。</li> <li>●園の保育課程は、法人が策定した保育課程に沿い、園長主導により主任が全般のまとめを行い、地域の実態、周囲の環境等を加味して作成しています。小学館アカデミーなかやま保育園の保育課程の特徴は、6歳児の項目を加えている点にあり、年齢別に養護・教育のねらいを掲げ、子どもの育ちの最善の利益を第一に考えて策定し、子どもの資質に応じた作成が成されています。保護者へは、保育課程を園内に掲示し、保護者会等で園の年間指導計画、各クラス別の年間指導計画を分かりやすく表現にした資料を示し、保育内容を説明しています。</li> <li>●園の保育課程に基づき、年間指導計画を作成し、期間・月案・週案作成につなげて保育を実践しています。また、個別指導計画</li> </ul> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>も含めて見直しを行い、省力化を図っています。月間指導計画では、子どもの姿を振り返り、子どもの気持ちに共感し、自主性や主体性を育み、言葉のやり取りから子どもの意見・希望を叶えられるよう留意して作成し、次月に反映させています。保育士は、援助・指導を行う際は、子どもが安心、納得した上で次に進めるよう配慮しています。</p>   |
| <p>I - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●入園決定後、入園前説明会と面談を行い、保育の中で配慮すべき体調面等を確認し、担任同士で情報共有を図り、昼打ち合わせ、伝達簿等を活用して報告し、職員全体で子ども一人一人の情報を把握し、共通認識を図っています。</li> <li>●新入園児の受け入れの際は、短縮保育（ならし保育）を行い、子どもの個性や、保育歴・保護者の状況に応じて臨機応変に対応するようにしています。0歳、1歳児の新入園児では、グループで職員が担当していますが、子どもが特定の保育士に懐いた場合は同じ保育士が関わるようにしています。保護者への連絡では、0歳～2歳児は連絡ノート（複写式）を使用し、3歳児以上は市販のノートを活用して必要に応じて記入し、登降園時にも口頭で伝えるよう保護者との連携を密にしています。在園児への配慮では、進級児の持ち上がりの保育士が担当するよう努めていますが、職員全体で一人一人の子どもを確認できるようにし、個々の職員が子どもの「困り感」が理解できる体制を目指して園全体で取り組んでいます。</li> <li>●月案・週案は、子どもの興味・発達に応じて見直し、主に週案で詳細に渡り評価、見直しを図り、確認しています。さらに、保護者や、子どもの発達や生活面の援助の見直し（食事面・排泄面・友だちとの関係性）では、情報を共有し、目標を明確にして共通認識を図っています。保護者の意向、要望を聞く機会を設け、意向を反映して、縦割り保育でバスを利用して親子遠足に出かけています。</li> </ul> |
| <p>I - 3 快適な施設環境の確保</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設環境について、「施設業務マニュアル」に「衛生管理マニュアル」を設け、チェックリストに沿ってクラス担任が確認を行い、清潔を保っています。0歳、1歳児クラスの玩具等の消毒は、ソリューションウォーター（次亜塩素酸ナトリウムと同等の抗菌性を持ち人体に安全な除菌・消臭水）を使用して消毒しています。全保育室には空気清浄機が設置され、適宜、自然換気を行い、保育室の温度・湿度については、「衛生管理マニュアル」の規程に基づいて保育士が確認し、園舎の設計上、通風も良好であり、快適な環境を確保しています。園では「流れる保育」の実施により、保育中は、保育士は小さな声で対応し、子どもが落ち着いて遊べる環境作りに努め、子どもが自ら選択できる体制も定着してきて</li> </ul>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●乳児保育室に沐浴設備を備え、沐浴にはベビーバスを利用して体を清潔に保っています。温水シャワーの設備は、乳児トイレ・幼児トイレ、屋外に設置し、清潔に過ごせるように活用しています。各設備は、使用后、その都度に清掃および消毒を行い、清潔を保っています。</li> <li>●子どもの発達に応じた環境づくりでは、0歳児保育室では、子どもの発達過程や生活リズムに考慮し、「田の字」を基本とする動線を基本に、室内にコーナーを作り、小集団保育を実施し、子どもが自ら玩具・教具等を選べるように設定し、個別の対応・流れる保育を実現しています。また、全クラス、食事と午睡の場所はそれぞれ確保しています。</li> </ul>  |
| <p>I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●0歳～2歳児については、毎月、子ども一人一人の個別指導計画を作成し、特別な課題のある子ども、障害児などを含め、個別に指導計画を立案しています。気になる子どもについては、必要に応じて関係機関の指導を仰ぎ、適切に対応するよう努めています。指導計画の見直しについては、定期的および、必要に応じて随時行い、新たな課題ができた場合は、相談・解決が図れるよう連携し、保育にあたっています。個別指導計画見直しの重要部分(個別の離乳食の進め方、トイレトレーニング等)については、保護者と連携をとり、重要事項の説明と同意を得て計画の作成・見直しを図っています。</li> <li>●子どもの記録としては、面談票・成長発達記録・児童票・保育経過記録、健康台帳を作成し、職員間で共有を図り、定期的に評価・反省を行い、子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をしています。記録は、事務室書庫にて保管し、必要に応じて職員が閲覧できるようにし、事務室外への持ち出しは禁止にしています。3月末には現担任と新年度の担任との申し送りを行い、個々の子どもの発達を見直し、職員会議で報告し、確認しています。また、年間指導計画表には次年度への項目欄を設けています。年長児クラスの担任は保育所児童保育要録を作成し、作成に先立ち、職員は要録作成についての研修を受けています。</li> </ul> |
| <p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「困った感のある子ども」の個別ケースについては、保育レポートにより、子どもの健康面・行動面・発達面・援助すべき項目についてケース会議で話し合い・記録し、情報を各クラスで共有し、伝達簿にて毎日の様子を共有し、全職員が対応できるようにしています。配慮を要する子どもや、気になる子どもについては、緑区の担当保健師に相談する等、アドバイスを受けながら配慮しています。</li> <li>●障害児保育のための環境整備では、園舎はバリアフリー構造で</li> </ul>   |

あり、多目的トイレにオスメイトを設置し、エレベーターも設備されています。小学館アカデミー保育園全園共通で、障害児の受け入れ体制・書式を整えており、いつでも受け入れ可能な体制を整えています。関係機関との連携では、北部地域療育センター、緑区役所の保健師、ケースワーカーと必要に応じて相談・指導を受けられる体制を構築しています。医療機関や専門機関からの助言内容は、記録し、全職員で共有化を図っています。職員は、「共感」・「困り感」を大切に考えて対応し、話し合える体制を整えています。

●虐待の定義については、入社前研修および、厚労省の虐待マニュアルで全職員に周知しています。虐待予防・早期発見については、職員は、登園時などに子どもの健康観察を丁寧に行い、「困り感」のある子どもや保護者について配慮し、きめ細やかな対応に努めています。現在、虐待はありませんが、防止策として、職員の「気付き」を何より大切にし、取り組みに期待されます。

●アレルギー疾患のある子どもには、医師の指示（診断書）に従って除去食を提供しています。給食時では、専用トレイ、専用食器、名札等を使用し、調理室と保育士で連携を図り、受け取り時には保育士がダブルチェックの確認を行い、誤食がないよう徹底しています。除去食のメニューは、指示書に従って別途作成し、保護者に伝えています。

●文化が異なる対応については、園では多国籍の子どもが在籍し、生活用語は母国語を理解し、互いの意思の疎通を図るように努め、子どもが安心して過ごせるように配慮しています。文化の違いによる食事の対応については、給食は無理強いせずに、保護者と連携を密に図り、徐々に食材や味付けに慣れるように見守っています。

#### I-6 苦情解決体制



●保護者からの苦情に関しては、入園のしおりに苦情受付窓口・受付方法を記載し、入園説明会等で保護者に説明しています。第三者委員の仕組みは玄関に掲示して周知し、権利擁護機関についての苦情解決窓口も紹介しています。保護者から要望や苦情が言いやすいよう、玄関に意見箱を設置し、行事後には保護者アンケートを行い、地域交流後にもアンケートを実施しています。さらに、ご意見用連絡ノートにも記載してもらうよう保護者に伝えています。意見を表明するのが困難な園児や保護者に対しては、職員からコミュニケーションを図るよう努めています。苦情を受けた場合は、法人から伝えるべき範囲の指示を受けて対応し、苦情内容等は運営委員会で報告しています。また、外部の危機管理会社に依頼して事例の共有を図り、顧客満足に努めています。

●外部の機関として、緑区子ども家庭支援課と連携し、必要に



じて第三者委員を交えて苦情解決にあたる体制があります。苦情や要望を受ける体制では、会議などで職員に内容を周知し、過去にあった苦情・要望に関してはデータ蓄積し、問題解決と再発防止に生かしています。

## 評価領域 II サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由(コメント)   |
|---|---|
| <p>II-1 保育内容 [遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"><li>●子どもが自主的に活動できるよう、玩具は子どもの手の届く場所に設置し、自由に取りだして遊べるようにしています。玩具は、楽習保育(小学館アカデミー保育園独自の取組み)のコンセプトで揃え、季節ごとに見直し、入れ替え、形状の違うものを提供しています。玩具の設定については、朝夕の合同保育・自由時間・クラス別・建物の内と外・年齢別等、それぞれに応じて使い分け、環境設定を行っています。</li><li>●園では、ランチルーム方式を採用し、小さな集団による「流れる保育」により、食事までの時間は保育士が一人一人の子どもの状況を把握し、現時点で子どもが遊べる玩具で遊びきれることを促し、子ども自身で遊ぶ時間を決めています。また、使用する玩具を通して、3点持ちができるまでは食具は箸に移行せず、スプーンを使用するなど、個々の子どもに応じて生活習慣の把握につなげています。</li><li>●子どもがそれぞれの遊びに集中できる環境作りを工夫し、ハサミなど使用する場合は保育士と一緒に遊ぶようにしています。集団活動では、一斉に行うのではなく、同じ作品を、小さな集団ごとに同じテーブルで個別に行う場合もあります。また、子どもたちに遊びを通して、「待つ」ことを伝え、集団活動の中で「待てる」ことを育てています。「流れる保育」により、子どもが考えながら行動できるように保育を進め、子どもは集中して遊び、職員間で話す時は声のトーンに配慮し、子どもと話す時は正対してアイコンタクトで話すようにしています。</li><li>●動植物の飼育や栽培の取り組みでは、栽培活動はトマトなど夏野菜を栽培し、花は球根からチューリップを育て、パンジーやピオラなどの植物を育て、自然と触れ合っています。飼育ではメダカを飼い、成長を観察しています。</li><li>●園外活動では、交通機関を利用した体験活動や、園庭で2歳以上は裸足にゴム草履を履いて歩き、子どもの姿勢に配慮して戸外活動を通して取り組み、5歳児には1人歩き(1列歩き)を推進しています。地域の方とは玄関先で挨拶を交わし、交流しています。利用者アンケートでは、戸外活動や地域、自然との触れ合</li></ul> |

いについてより活動を望む声も挙がっていますので、検討が望まれます。他に園外活動を通じた交流では、法人系列園（小学館アカデミーのまいた保育園）の園児と交流する機会や、他園とドッジボールを通して交流しています。

●子どもが自由に自分の気持ちを表現できる機会として、季節や状況に合わせて実施し、毎年、行事（クリスマス）には、「園内サーキット」を異年齢合同で取り組み、一緒に行なうことで互いの刺激になり、様々な表現ができています。さらに、表現できる機会に「本育」、「体育」、「音育」を課題とし、職員は課題の達成に向けて、過程を考えながら取り組み始めています。

●子ども同士のケンカの場合は、保育士は双方の話を聞き、お互いが理解できるよう話し合いを促し、互いに謝ることを伝え、年齢に応じて援助しています。子どもに注意をする場合は、個々の子どもの特性に合った注意の仕方を職員間で共通認識を図っています。噛みつき、ひっかき等が起きた際は、園の責任と考え、保護者に伝えています。

●異年齢の関わりでは、年間指導計画を作成し、異年齢グループで活動して関係作りを行っています。例えば、異年齢でのランチルームの活用や、「本育」では子どもたちが自由に本を選び、異年齢で行うなど、日々の食事、定期的な活動を通して交流を深めています。

●健康増進の工夫では、園庭で積極的にどろんこ遊びに取り組み、戸外で土に直接触れる事により適度な刺激を与え、皮膚も鍛えられ、遊びに集中することにより五感も育まれ、健康な体作りにも役立っています。夏の屋外活動は、時間を決め（11:00～14:30は室内）、留意しています。戸外遊びでの紫外線対策では、襟足付き帽子を着用し、必要に応じて、長袖のシャツ、ズボンの着用や、虫よけリングを装着により対策に配慮しています。子どもの健康状態は、確認後、子どもの体調に合わせて看護師、園長が個別に配慮しています。

## II-1 保育内容 [生活]



●食事では、家庭と連携を取りながら、子どもの負担にならないよう盛り付けに配慮し、年長児は自分で盛り付けをして食べられる量を盛り付け、完食の満足感を味わえるようにしています。子どもたちは、盛り付ける周りの友だちを見て、自分の苦手な食材もお皿に盛る等、様々な食材を食べる機会になっています。乳児の授乳については、時間間隔を把握して提供し、離乳食に移行できるようにしています。離乳食の進め方は、保護者と相談しながら、離乳食進行表（目安表）に基づいて確認し、小さな子どもは抱いて、言葉をかけながら子どものペースに合わせて個別に対応しています。

●園では、食育活動を中心に「流れる保育」を実施しています。「遊び→食事→食器の片付け→午睡」を区分し、スムーズに流れるよう工夫して取り組んでいます。食事では、子どもが食事開始時間の自己選択や、自己配膳を個々に時間の流れを作って実施しています。また、本日の献立は子どもが皆に伝えています。行事食では、みんなが一緒のテーブルに着き、全員で「いただきます」を言って食べる機会も設けています。

●毎月の献立は、栄養士が専用の「献立ソフト」を利用して、園独自の献立表を作成し、季節感を取り入れ、旬の食材を提供しています。素材の形状、硬さ・柔らかさなどは子どもの成長に応じて工夫して調理しています。行事食ではランチョンマットを用いるなど、食事の場としての雰囲気作りにも配慮しています。食器は、陶器製のものを採用し、幼児はお碗を使用し、食具（フォーク、箸等）は自分で選べるようにしています。

●子どもの喫食状況について、給食会議で話し合い、栄養士及び調理担当者は、毎日子どもの様子を交代で、その日の食事の状況を観察し、献立や調理の工夫に活かしています。栄養士は、食育の取り組みの際、子どもの前で実際に調理して指導を行い、身近な関係性を築いています。さらに、食の無駄の削減を心がけ、残食0を目指し、在庫管理を徹底し、宅配業者の変更等、費用対効果に留意しています。

●献立表は、毎月1日に園だよりと共に各家庭に配布し、各保育室にも掲示しています。給食サンプルは、玄関に設置して保護者に知らせています。給食サンプルは、玄関に設置して保護者に知らせています。食育活動については、給食だよりに献立のポイントや旬の食材、レシピについて掲載してお知らせし、要望があれば必要なレシピを渡し、保護者の興味・関心につなげています。また、給食の試食は、入園式と保育参加の機会に実施しています。

●午睡時は、睡眠環境に配慮し、年齢、発達に応じて休息の長さや時間帯の調整を考慮して、その日の状態に応じて個別対応を行っています。眠れない子は、無理強いせず、落ち着ける場所で静かに過ごせるよう配慮して対応しています。SIDS 予防では、0歳児は5分ごと、1歳、2歳児は10分ごと、幼児は30分ごとにブレスチェックを行っています。年長児は、就学に向けて午睡について話し、子どもたちに選択を促しています。

●排泄については、保護者と連携を図り、個人差を尊重し、子どもの発達に応じて個別にトイレトレーニングを進めています。戸外に出かける際には0歳児からトイレに行く習慣を付けています。排泄に失敗した際には、子どもの羞恥心に配慮し、沐浴室を利用する等、気持ち良く過ごせるようにしています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



●健康管理は、施設運営業務マニュアルに健康管理に関するマニュアルがあり、マニュアルに基づき、健康診断、歯科健診を実施しています。子どもの健康状態は、連絡帳や朝の受け入れ時に確認しています。既往症のある子どもについては、その後の経過や健診について保護者から報告を受け、全職員に周知し、看護師による勉強会にて知識を得て緊急時に備えています。歯磨きについては、2歳後半から歯科医よりブラッシング指導を受けています。

●健康診断・歯科健診の結果は、個別シート（シール帳）に記入し、保護者には、結果および指摘事項等をお便り帳やシール帳で伝えています。園医とは連携し、感染症の情報や流行の状況に関して知らせてもらっています。

●感染症に関して、入園のしおりに登園基準、登園許可届等を明記し、対応については施設運営業務マニュアルおよび横浜市マニュアルを活用しています。保護者に連絡する発熱目安は、37.5℃とし、悪化が予想される場合は速やかにお迎えをお願いしています。疑わしい「状態」の場合は、園で預かり、変化があった場合は連絡をし、個別対応しています。感染症が発生した場合は、看護師から保健だよりで園の様子を知らせしています。職員に対しては、職員連絡ノートや昼の打ち合わせで周知し、感染症に対する資料を回覧して知識を深め、対応に努めています。感染症等の情報は区役所から入手し、情報は掲示しています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]




●施設運営業務マニュアルの中に衛生管理に関するマニュアルがあり、衛生管理マニュアルは法人の看護師会で見直しています。看護師は、法人の看護師研修の受講後は伝達研修をし、情報を共有しています。園では、マニュアルに沿った室内安全点検簿を作成し、室内安全点検簿に基づき、全職員がトイレ、各保育室、給食室の清掃に努め、清潔な環境を確保しています。共用部分の清掃は当番制で実施しています。また、汚物処理セット（Gセット）を用意し、対応に備えています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



●安全管理では、大きい家具は作り付けであり、指はさみ防止のドアや、クッション性のある角、90cm以下の低い棚やパーテーションを配置し、安全対策が講じられています。避難訓練は毎月1回実施し、警察の指導による防犯訓練も実施しています。安全管理に係るマニュアルは、施設運営業務マニュアルの中に整備され、職員に対してマニュアルに基づいた対応を周知徹底し、職員会議でも勉強会を実施しています。職員は、救命救急法の講習会を順次受講し、園長は小児救命救急講習を受講しています。また、園内にAEDを設置し、研修会を設けて身に付けています。緊急連絡体制は、職員用連絡網も備え、保護者向けには、小学館アカデミー保育園のブログおよび安心伝言板、171伝言ダイヤル、一斉

|   |   |
|---|---|
|   | <p>メールにて連絡ルートを整え、年1回は確認しています。</p> <p>●事故やケガについては、病院等の緊急連絡先リスト等を完備し、ケガ報告・事故報告・ヒヤリハット、ヒヤリハットマップを作成し、毎月、ケガの状況を集計して職員会議で周知し、再発防止策を立て、再発防止に努めています。ケガについては、保護者へ軽重に関わらず必ず保護者に伝え、頭のケガにはについては病院で受診するようにしています。</p> <p>●外部からの侵入に対して、出入口は IC カードで確認しています。園では、不審者侵入があった場合、職員間で合言葉を定め、緊急通報体制を整えています。不審者情報は、警察の FAX 配信、緑区役所からの防犯メールの他、地域、保護者からも情報を入手しています。また、園は地域の子ども 110 番施設となっています。</p>  |
| <p>II-3 人権の尊重</p>  | <p>●子どもの人権について、理念、方針に盛り込まれており、職員は入社時に研修を受け、「職員マニュアル」にも明記し、人権についての勉強会も実施しています。園では、子どもを尊重し、子ども一人一人を大事にし、子どもの人権を最優先に考えた保育について会議等で話し合い、確認し、施設運営業務マニュアルに明示された「人権を守るためのチェック」を行い、より良い保育に努めています。園では、「なぜ悪いのか」を分かるように説明し、保育士も保育・教育の面から理解し、注意を促す際は声を荒げず、個人を尊重して取り組んでいます。</p> <p>●子どもが友だちや職員の視線を気にせず過ごせる場所を確保し、また、一対一で話せる場所や、子どもが落ち着ける場所を用意しています。特に、羞恥心等については配慮するようにしています。職員は、配属前研修でプライバシー保護、プライバシー侵害について事例を通して学び、職員間の守秘義務については、入社時に誓約書を提出し、配属後も留意しています。保護者に対しては重要事項説明書で説明し、特に、肖像権については、入園時に保護者と書面にて同意を得た上で、掲示および掲載をするようにしています。また、発達に関する公の機関を利用する際は、必ず保護者の同意を得るようにしています。</p> <p>●個人情報の取り扱いについては、職員は入社前研修テキストに沿って研修を受け、スキルアップ研修（1年後）、フォローアップ研修（3年後）でも研鑽しています。守秘義務については、意義や目的を全職員（ボランティア・実習生含む）に周知し、誓約書を交わしています。個人情報が記載されている書類は、事務所内の鍵付きロッカーに施錠し、保管しています。</p> <p>●性差に関する配慮では、出席簿は月齢順にし、遊び方や行事での役割、持ち物や服装での区別や、グループ分けや整列も性別で区別をすることはしていません。身体的、精神的な話をする場</p> |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>合は個々に対応し、コンプライアンスを守るようにしています。呼び方は、小学校での「さん」付けを配慮し、就学前には「さん」付けにしています。職員は、ジェンダーフリーに関する勉強を行い、理解を深めています。</p>   |
| <p>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育理念、保育方針は、園のパフレット、入園のしおりに記載し、保育課程、様々な文書に記載し、常に保護者の目に着くように園内にも掲示しています。また、保護者会、クラス懇談会、運営委員会等を通して周知し、理解を促しています。行事後は保護者アンケートを実施し、保育方針が理解されているかを把握しています。職員は、保育理念の「あったかい心を持つ子どもに育てる」ことを大切に、想いを持ち、理念の具現化と共に保育にあたっています。</li> <li>●保護者との情報交換は、送迎時、乳児は個別の連絡ノート（複写式）で子どもの様子を伝え、幼児は市販のノートを活用し、必要に応じて伝えています。長時間保育をする家庭には、引継ぎにより、遅番の職員が保護者に口頭で伝えるよう努めています。園生活での様子や活動内容は、クラス別の連絡ボードで伝え、クラス担任が不在の場合でも、報告・共有の上、担任以外でも保護者に園の様子を伝えられる体制があります。また、児童福祉委員の充実により、一般の保護者にも対応する機会を設けています。</li> <li>●保護者の相談については面談室、事務所で行い、保護者のプライバシーを守るよう配慮し、相談内容は守秘義務の基、記録をしています。職員は適切に対応できるよう、職員会議の中でカウンセリングの研修を行い、相手の気持ちを考えられるよう研鑽しています。</li> <li>●園生活に関する情報は、4月の保護者会で1年間のクラスの保育内容の資料を配布し、わかりやすく情報提供を行い、園だより（保健だより、給食だより、クラスだよりを含む）・ブログ・写真販売等で、常に保護者に保育内容が伝わるようにしています。連絡ボードにはクラスの1日の様子を記載して伝えています。日常の保育の様子はDVD化して流し、保護者がいつでも見られるように工夫しています。</li> <li>●保護者の保育参加・参観では、保護者の都合を考慮し、幅広く期間を設けて実施し、期間以外にもフォロー日を設けて全ての保護者が参加できるように配慮しています。保育参加・参観の計画は、年間計画表や園だよりなどで重ねて知らせ、参加を促しています。開かれた保育園として、緑区に協力し、常設ひろば事業として園庭を開放しています。</li> <li>●保護者とは常にコミュニケーションを図り、運営委員（6名）では、クラス代表の保護者と状況に応じて話し合いを行っていま</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>す。現在、保護者から場所の提供や職員参加の要望はありませんが、対応できる体制は整えています。また、懇談会、卒園児保護者の懇談会、半自立的な在園児保護者の茶話会などで交流を持っています。</p> |
|--|---|

評価領域 III 地域支援機能評価領域

| 評価分類  | 評価の理由(コメント)   |
|---|---|
| <p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の保育園、学校関係や高齢者施設、商店、近隣住民等と積極的に交流を持つよう努め、緑区の親子クッキングに栄養士が協力を行い、緑区の園長会議に園長が出席して情報・ニーズを収集し、地域の具体的な福祉・子育て支援サービスのニーズを把握するよう努めています。</li> <li>●地域の子育てニーズは、緑区の幼保小連絡会、園長会議で得た情報やニーズに関して職員会議で検討し、役立てています。地域の子育て支援サービスでは、交流保育を実施し、地域の保育園と交流を図り、園庭開放を実施しています。近隣保育園との交流では、センター園（市立鴨居保育園）を中心に「緑っ子まつり」を協働で実施しています。今後、横浜保育室の3歳児の受け入れを検討しています。</li> </ul>                              |
| <p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民に対する園の情報提供については、ホームページやブログに掲載して提供する他、緑区の幼保小連絡会、園長会議等での連携が主になっています。育児相談では、月曜日～金曜日の10：00～15：00に設定して実施しています。28年3月より、緑区の事業を受託して「常設ひろば事業」を開設し、園庭開放を行い、地域に貢献しています。育児支援のお知らせや保育園情報は、緑区子育て情報サイト、広報よこはま緑区版に掲載され、わかりやすく情報が提供されています。</li> <li>●関係機関との連携では、関係諸機関、団体はリスト化し、緑区保健センターの保健師、北部児童相談所、北部地域療育センターと連携を図り、担当は園長または主任とし、連絡方法は事務所内に掲示し、園長不在の際も連絡ができる体制を作っています。</li> </ul> |

評価領域 IV 開かれた運営

| 評価分類                                | 評価の理由(コメント)   |
|-------------------------------------|---|
| <p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域への園の理解促進のための取り組みとして、行事(夏祭り)に近隣の方々、老人ホーム、高齢者グループホームの高齢者に案内し、園の取り組みや子どもの様子を見てもらおう機会を設けてい</li> </ul> |



ます。また、自治会の回覧板やお祭りに参加し、近隣の小学校の行事への参加、幼保小との交流等を設け、町内会の行事では栄養士が「非常食」の調理を行ったり、中学生が園長インタビューに来訪する等、交流を図っています。さらに、小規模保育園との連携や、認可外保育園の0歳～2歳児を受け入れ、地域の親子に向けた絵本の貸し出しも行っています。

●子どもと地域との交流では、緑区の文化・レクリエーション施設を利用し、消防署の見学や、公園、市民プラザの活用の他、ズーラシア、四季の森などに出かけ、地域の様々な人と交流する機会を設けています。食育での買い物に地域の商店を利用し、近所の方に挨拶をして交流をしています。保育まつり（緑っ子まつり）に参加して交流行い、就学を視野に入れた取り組みでもある、他園とのドッジボール大会も実施しています。

IV-2 サービス内容等に関する  
情報提供



●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、小学館アカデミー保育園のホームページや園のブログ、園のパンフレットを園見学者や来園者に配布しています。また、入所案内の広報誌や、「ヨコマハはびねすぽっと」にも情報を提供しています。入園のしおりには、保育内容などの情報、料金を記載しています。

●園への問い合わせについては、園長または主任が対応し、園のしおり等で小学館アカデミー保育園の仕組みについて伝えています。小学館アカデミーなかやま保育園の良さに、「遊んでみたいもので遊べる」ところにあり、子ども自身で自己選択、自己完結できる点であることを伝えています。園見学者へは、パンフレット、リーフレットで説明し、入園後に入園のしおりを渡しています。園では、問い合わせは多い月は70件位あり、園見学者は年間300件以上あります。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



●ボランティアの受け入れでは、一般大学生、通信制学生の夏休みボランティアや、シルバーボランティアの除草、体育のボランティア指導、中学校の職業体験学習などを受け入れています。ボランティア受け入れのためのマニュアルがあり、担当は園長とし、マニュアルに基づいてボランティアを受け入れ、今後さらに、積極的に受け入れていく意向です。

●実習生の受け入れでは、実習生受け入れのためのマニュアルがあり、担当は園長とし、マニュアルに基づいて実習生を受け入れています。実習では、学校の意向の確認とカリキュラムに沿って実習が効果的に行われるようにしています。園長は、社会人の入り口として大切な期間と捉え、保育士には実習生の良い点を学びとし、教える側の教育にも尽力しています。



| 評価分類  | 評価の理由(コメント)  |
|---|--|
| <p>V-1 職員の人材育成</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学館アカデミー保育園に勤める職員としての行動目標を明文化し、専門性・社会人性・人間性を総合的に判断し、一般職員から主任、園長への人事管理へとつながる考え方を定めています。法人で研修計画が策定され、入社時研修、フォローアップ研修、ステップアップ研修等を設け、テーマ別や、職種・役職別を実施し、該当者は参加しています。また、人事考課制度があり、個人別目標の設定、個人別能力向上シートの作成を行い、目標と研修計画に沿って面接を実施し、人事の異動も含め人事政策を展開しています。園では、子どもの見守りについて、保育士が援助する必要性の判断ができる人材を育成することが重要と考え、子どもが困った時に援助できる体制作りを進めています。</li> <li>●職員、非常勤職員の研修体制については、法人としての研修計画があり、必須の研修と選択できる研修がラインナップされています。職員会議は殆ど研修とし、「自己紹介」の手法（人に伝える技術）や、コーチングを実施し、研鑽を図っています。非常勤職員への研修は、園内研修の参加を促し、参加できない場合は資料を渡して説明し、常勤職員が研修受講後の報告書を回覧し、共通理解と資質向上に努めています。昨年度に引き続き、コンプライアンスの問題について非常勤にも伝え、共通認識を図っていきます。</li> <li>●小学館アカデミーなかやま保育園では、常勤19名、非常勤7名の体制であり、常勤比率（73%）が高い保育園です。非常勤職員の配置や業務内容については、常勤職員との組み合わせを考慮し、必要な知識・情報を提供し、職員間で情報共有を図り、非常勤職員の指導および、連携に努めています。園長は、非常勤職員同士のコミュニケーションを図る時間を設ける等、園の円滑な業務につなげています。「常設ひろば事業」の園庭開放では、専任の非常勤職員を配置する予定でいます。</li> </ul> |
| <p>V-2 職員の技術の向上</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●サービスの評価では、職員会議で年間目標を提示し、保育士は定期的に自己評価を行い、取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て、次年度につなげる仕組みを整えています。また、運営委員会において、保護者、自治会長、嘱託医と情報交換を行い、楽習保育のレシピ作り等、さらなる保育サービスの向上につなげています。保育士は、子どもの発達に応じて現場</li> </ul>  |

|   |  |
|---|--|
|   | <p>の動線作りを見直し、保育レポートで振り返り、日々の保育につなげています。また、透明性ある保育を心がけ、気づきを得られるよう日々保育にあたっています。外部から保育の技術の評価・指導等は、法人本部の指導の他、法人系列園との交流や、ボランティアの体育指導によるアドバイス、「英語で遊ぼう」の講師等から受けています。</p> <p>●保育士の自己評価では、保育や業務の計画および記録を通して、各保育士が園の目標である「自己自立」を目指し、職員全員が自己評価票、個人能力向上シートに、園の指導計画も加味した目標を立て、振り返り、保育士自らの実践を評価し、改善に努め、今後の保育につなげています。</p> <p>●保育所の自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿い、園の方針は月案、週案に展開し、月末、週末ごとに評価・反省を行い、保育士の個人能力向上シートから年間計画に関する部分は話し合い、課題を明らかにし、次月、週の計画に反映させています。</p> <p>●小学館アカデミー保育園では、2012年度から第三者評価を毎年受審し、年により非受審園は第三者評価の利用者アンケートを活用して取り組んでいます。今年度は、第三者評価を受審し、職員全員が自己評価票に自己の振り返りと共に取り組み、主任が中心となり職員会議等で協議を図り、園全体の現状を把握し、改善課題を抽出して取り組み、主任主導の体制作りにも活用しています。保育所の自己評価結果は公表しています。</p> |
| <p>V-3 職員のモチベーション維持</p>  | <p>●法人にて職種別に期待される職員像を明文化しています。人事考課制度による面接の際は、個々の異動の希望、クラス担当の希望も含めて各保育士の意向を聞いています。園では、月当番、各プロジェクト、役割分担表を明文化し、行事は保育士の提案により運営・実施しています。園と法人本部の連携を図る施設担当者を設置し、園長と協力しながら運営を推進しています。職員からの業務提案では、帳票類に関する提案に対し、改善ができた事例もあります。例として、保育日誌は1週間のフォーメーションを組み込んだものに改善されました。園長は、職員に対し、「常々期待される大人であれ」と啓蒙し、職員のモチベーションにつなげています。</p>  |

評価領域 VI 経営管理

| 評価分類             | 評価の理由(コメント)   |
|------------------|---|
| VI-1 経営における社会的責任 | ●守るべき法・規範・倫理等は、「ブルーファイル」(入社前研修資料:マニュアル相当)に明文化され、研修で徹底しています。 |



職員は、保育士倫理綱領や就業規則を順守し、実践に即した規定としての職員マニュアルを常備し、常に確認できる体制にしています。経営、運営状況等の情報は、小学館アカデミー保育園グループとしてホームページで公開しています。コンプライアンスに関して、法人本部より運営事務局会議の安全委員会で討議された事例が配信され、園内研修で取り上げ、職員は守るべき規範について再確認しています。

●環境整備では、施設運營業務マニュアルの中に環境方針が明文化され、ヨコハマ3R夢（スリム）方針を意識し、ゴミの減量化と分別に取り組んでいます。省エネ対策としては、節電や、エアコンの設定温度を心がけ、実践しています。緑化推進では、園庭のプランターや花を上、栽培を楽しみながら緑化をすすめ、夏はグリーンカーテンで工夫しています。また、牛乳パック、廃材を利用して自由制作に活用する等、エコ化に取り組んでいます。ゴミは業務委託で産業廃棄物回収専門事業者に出しています。

## VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



●保育所の理念や基本方針は、エントランス・事務所・更衣室・相談室に掲示して、常に目に触れるようにしています。施設運營業務マニュアルを全職員に配布し、必要に応じて、職員会議の始め、園内研修で保育理念・基本方針・保育目標を全職員で確認しています。園長は、年2回の職員面接を通して、保育理念や基本方針の理解度を確認し、意識統一に努めています。

●重要な意思決定については、職員や場合に応じて保護者の意見を聞いています。計画策定においては、前年度の意見（含むアンケート）を基に策定し、重要な意思決定の該当項目については、法人本部も関与しながら、職員、保護者に因る体制が構築されています。今回、緑区の受託による「常設ひろば事業」について説明を実施しています。

●主任の育成に関して、スーパーバイズが可能な主任候補の育成を常に心がけ、順次、次期を任せられる職員が育成される体制が整えられています。主任（若しくは代行）は、ホワイトボードに次の日の予定を記載し、確認しやすいよう配慮して勤務表を作成し、職員の勤務変更や休暇の調整に努めています。園長は、園内を巡回し、子ども、職員の健康に配慮し、相談に応じる等、円滑な園運営に尽力しています。

## VI-3 効率的な運営



●園長は、横浜市や緑区役所および本部の運営事務局会議などを通じて、保育業界や保育施策等の諸情報の収集に努め、全国の保育園情報は全国保育者協議会、全国社会福祉協議会から入手し、全職員に周知しています。さらに、育児支援事業を通じて保護者からニーズを把握し、今後の計画に役立てています。また、主任を中心として、年度替わりの子どもの進級、職員の園内外の異動

に配慮し、調整を図っています。

●中・長期計画は、法人本部の運営事務局会議でのアジェンダが作成され、それらを基に、園長は、中・長期計画（基本的に体質改善計画を中心とし）を立案し、事業計画を策定しています。「常設ひろば事業」受託についても中・長期計画の中で計画されています。中・長期計画で重要な情報は、必要に応じて会議やミーティング等で職員に報告し、重点改善課題として設定しています。園の重点改善課題については、園全体の問題として全職員で検討し、取り組んでいます。次期後継者については、園、法人本部共に幹部職員の育成に日々努めています。外部の機関や専門家等からの意見は、法人本部、法人の顧問、弁護士等の他に全国事故事例収集の専門会社などの助言・意見を取り入れ、よりより園運営に生かしています。

27年度福祉サービス第三者評価 本人（園児）調査結果報告書

小学館アカデミーなかやま保育園

(株)R-CORPORATION

|              |   |              |
|--------------|---|--------------|
| *調査日程        | 観察調査  | 平成27年3月1日・2日 |
|              | 本人調査  | 平成27年3月2日    |
| *保育観察        | 調査員2名で全クラスの視察、観察を行いました。生活の保育観察を行い、午睡の様子と保育観察を継続する中、食事(1日目)を園児と一緒にいき、保育士の関わり方、園児の様子観察を行いました。   |              |
| *本人（園児）調査の方法 | 本人面接の部屋を設けてもらい、4歳児、5歳児対象に園から選定された11名（4歳児5名、5歳児6名）を年齢別に2回に分けて各30分、質問6項目のインタビューを実施し、子ども一人一人の意見を聞き、集計・分析し、子どもの姿を通して園生活、保育士との関わり等を確認しました。大きく項目を分け、遊び中心とした保育園での生活、食育を通じた子どもの成長と家庭との連携、そして社会生活の面について考察しました。 |              |
| *属性          | 4歳児：男児1名・女児4名 / 5歳児：男児1名・女児5名   |              |

本人（園児）調査結果

1. 【保育園での生活】

小学館アカデミーなかやま保育園には園庭が設けられ、眺望も良く開放感があり、近くに畑なども残り、自然に恵まれた環境の中、子どもたちは体を十分に動かして活動し、保育目標の沿った育成を保育士は実践し、子どもたちは健やかに成長しています。自由遊びでの観察では、訪問日は冬季であり、原則的に室内遊びが成されており、子どもたちは遊びを自主的に判断し、次に何をするかを自分で決め、陽がさして来たら園庭に出で遊ぶ、というように活動を決めて遊んでいる様子に、自主的な行動が身に付いていることの確認ができました。子どもたちへのインタビューでは、「どんな遊びが好きですか？」と聞いてみると、4歳児では、「ブロック」、「お絵描き」、「ままごと」、「積み木」、それに「外遊びが好き」という回答が挙がりました。5歳児では、「ワミー」、「ままごと」が人気で、特に、ワミーは5歳児の子どもたちの間で盛り上がっている様子でした。外遊びでは、園舎が建つ土地の条件を考慮し、利点として生かした遊びが展開されており、園庭の一部のぬかるんだ場所で「どろんこ遊び」が行われています。保護者に着替えを事前に準備してもらい、子どもたちは保育士と一緒にどろんこ遊びを楽しんでいます。4歳児が挙げた「外遊び」については、どろんこ遊びの楽しさが表れていました。

## 2. 【食育に関する保育】

食事はランチルームで行い、子どもたちがそれぞれ食事時間を自分で選択し、遊びを調整し、自己配膳をして自身の食事時間にする等、個々の子どもの生活ペースに合わせた食事が行われています。観察では、食事を通して、子どもが「待つ」、「譲る」、「選択する」等ができており、子ども自身で遊ぶ時間と食べる時間を決め、もう少し遊びたい子どもは遊び、お腹が空いた子どもは1番に食べに行き、食べている人が多ければ「待つ」ことが、それぞれ身に付いており、スムーズに「食事」の時間が流れていました。また、盛り付けも自分たちで行い、完食を目指して、子ども自身で食べられる量だけ盛り付けています。保育士は、子どもが苦手なものを「食べてみる？」と少し促し、自然に好き嫌いをなくすように援助する姿も見られました。インタビューでは、「好きな給食は何ですか？」と聞いてみると、4歳児では、「ハンバーグ」、「野菜」、「人参」、「カレー」、「魚」などが好きと答え、肉、野菜、魚とそれぞれが挙がり、5歳児では、「カレー」、「白いご飯」、「ゆかりごはん」など、お米にこだわりをもって提供している園ならではの回答であり、美味しいお米が子どもたちはわかるようです。

## 3. 【社会生活について】

社会生活の第1歩に、基本的習慣や、子ども同士の関わり合いが挙げられます。トイレ習慣については、保育士は子どもの発達に合わせて、「何でトイレに行くか」を伝え、身体の仕組みを話し、外に出かける時には0歳からトイレに行く習慣をつけるようにしています。インタビューでの子どもたちは年齢的にもトイレトレーニングは以前に終わっていますが、保育士からの「何でトイレに行くか」の話は頭に残っており、トイレに行く時には、保育士にトイレに行くことを伝えてから一人で行けると聞き、基本的な習慣が身についています。ケガの処理については、子どもたちは、「ケガしたことがある」、「ケガした時は先生（保育士）に言う」等、ルールもきちんと身に付けています。子どもたちは、口々に「石につまずいて転んで血が出た」、「擦りむいたことがある」等、元気な様子うかがえました。血が出た時には、保育士に言って洗ってもらい、絆創膏を貼ってもらう、足をひねった時にはシップを貼ってもらう、と聞きました。友だち同士のケンカでは、大きい子どもの場合は、お互いの言い分を聞いて相手の気持ちを理解し、双方で「ごめんなさい」をする等、保育士からの教えを守り、仲良く遊ぶ関わり方を学んでいます。子どものインタビューを通して、園の教育が行き届いていることがわかりました。小学館アカデミーなかやま保育園の子どもたちは、保育士や園長先生と親しみ、先生（保育士）が大好きで、保育士という大人を通じて社会の大人、他人に対するルール、人・ものに対する「思いやり」を学び、保育士も子どもたちを受け止め、保育にあたっていることが確認できました。

## 調査結果

### 小学館アカデミーなかやま保育園

#### ■ 保育園の基本理念や基本方針について

|                           |          |          |           |         |          |     |
|---------------------------|----------|----------|-----------|---------|----------|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか | よく知っています | まあ知っています | どちらともいえない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 |
|                           | (人)      | 5        | 26        | 4       | 4        | 1   |
|                           | (%)      | 13%      | 65%       | 10%     | 10%      | 3%  |



|                                 |       |         |           |           |        |     |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらともいえない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 |
|                                 | (人)   | 22      | 8         | 1         | 1      | 0   |
|                                 | (%)   | 55%     | 20%       | 3%        | 3%     | 0%  |

#### ■ 保育園のサービス内容について

##### 問2 入園する時の状況について

|                           | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------|--|------------|------------|----|-----|-----|
| 見学の受け入れについては              | 19   | 13         | 1          | 0  | 7   | 0   |
|                           | 48%  | 33%        | 3%         | 0% | 18% | 0%  |
|                           | ・知らない。<br>・見学していない。(4)<br>・入園時に新設されたため。<br>・見学があったのかわからない。 |            |            |    |     |     |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 15   | 20         | 2          | 1  | 2   | 0   |
|                           | 38%  | 50%        | 5%         | 3% | 5%  | 0%  |
|                           | ・見学していない。(2)   |            |            |    |     |     |
| 園の目標や方針についての説明は           | 15   | 22         | 2          | 1  | 0   | 0   |
|                           | 38%  | 55%        | 5%         | 3% | 0%  | 0%  |
|                           | ・担任との面談しかなく、説明はなかった。                                       |            |            |    |     |     |

|                                 |     |     |    |    |    |    |
|---------------------------------|-----|-----|----|----|----|----|
| 入園時の面接で、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については | 20  | 19  | 1  | 0  | 0  | 0  |
|                                 | 50% | 48% | 3% | 0% | 0% | 0% |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には           | 10  | 29  | 1  | 0  | 0  | 0  |
|                                 | 25% | 73% | 3% | 0% | 0% | 0% |
| 費用やきまりに関する説明については               | 15  | 22  | 2  | 1  | 0  | 0  |
|                                 | 38% | 55% | 5% | 3% | 0% | 0% |

### 問3 保育園に関する年間の計画について

て

|                                | 満足  | どちらかといえは満足 | どちらかといえは不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--------------------------------|-----|------------|------------|----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明は               | 8   | 24         | 6          | 1  | 0   | 1   |
|                                | 20% | 60%        | 15%        | 3% | 0%  | 3%  |
| ・説明(日時)が直前すぎて、お休みができません。       |     |            |            |    |     |     |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 6   | 21         | 7          | 3  | 2   | 1   |
|                                | 15% | 53%        | 18%        | 8% | 5%  | 3%  |
| ・わからない。<br>・保護者アンケートがないことが残念   |     |            |            |    |     |     |

### 問4 日常の保育内容について



「遊び」について

|   | 満足  | どちらかといえ<br>ば満足 | どちらかといえ<br>ば不満 | 不満  | その他 | 無回答 |
|---|-----|----------------|----------------|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについて<br>は(お子さんが満足しているかな<br>ど)                      | 19  | 18             | 1              | 0   | 0   | 2   |
|   | 48% | 45%            | 3%             | 0%  | 0%  | 5%  |
| 子どもが戸外遊びを十分<br>しているかについては                                   | 14  | 20             | 5              | 0   | 0   | 1   |
|   | 35% | 50%            | 13%            | 0%  | 0%  | 3%  |
| 園のおもちゃや教材について<br>は(お子さんが自由に使えるよ<br>うに置いてある、年齢にふさわ<br>しいかなど) | 27  | 11             | 1              | 0   | 0   | 1   |
|   | 68% | 28%            | 3%             | 0%  | 0%  | 3%  |
| 自然に触れたり地域に係わる<br>などの、園外活動については                              | 8   | 16             | 10             | 5   | 0   | 1   |
|   | 20% | 40%            | 25%            | 13% | 0%  | 3%  |
| ・園外へのお散歩がありません。   |     |                |                |     |     |     |
| 遊びを通じた友だちとの関わり<br>や、保育士との関係について<br>は                        | 17  | 18             | 3              | 1   | 0   | 1   |
|   | 43% | 45%            | 8%             | 3%  | 0%  | 3%  |
| 遊びを通じたお子さんの健康<br>づくりへの取り組みについては                             | 13  | 23             | 2              | 0   | 1   | 1   |
|   | 33% | 58%            | 5%             | 0%  | 3%  | 3%  |
| ・よくわからない。   |     |                |                |     |     |     |

| 「生活」について  | 満足           | どちらかと<br>いえば満足 | どちらかと<br>いえば不満 | 不満      | その他     | 無回答     |
|---|--------------|----------------|----------------|---------|---------|---------|
|   | 給食の献立内容については | 28<br>70%      | 10<br>25%      | 1<br>3% | 0<br>0% | 1<br>3% |
| ・サンプルが、ラップに水滴がついて見えない時があり、非常に残念。改善していただきたい。内容は良い。 |              |                |                |         |         |         |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                              | 27<br>68%    | 12<br>30%      | 1<br>3%        | 0<br>0% | 0<br>0% | 0<br>0% |
| 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては            | 28<br>70%    | 9<br>23%       | 1<br>3%        | 2<br>5% | 0<br>0% | 0<br>0% |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては                  | 20<br>50%    | 13<br>33%      | 4<br>10%       | 1<br>3% | 2<br>5% | 0<br>0% |
| ・よく知らない。<br>・年長のお昼寝なしへの切り替えが遅すぎる。                 |              |                |                |         |         |         |

|  |  |           |           |         |           |         |
|--|--|-----------|-----------|---------|-----------|---------|
| おむつはずしは、家庭と協力しお子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 16<br>40%  | 8<br>20%  | 6<br>15%  | 0<br>0% | 10<br>25% | 0<br>0% |
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ時期でない。(4)</li> <li>・まだ0歳児なのでわからない。</li> <li>・すでにはずれていた。(3)</li> <li>・特になかった。</li> <li>・おむつはずしの年齢ではないので。</li> </ul> |           |           |         |           |         |
| お子さんの体調への気配りについては                        | 21<br>53%  | 16<br>40% | 2<br>5%   | 1<br>3% | 0<br>0%   | 0<br>0% |
|  | 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には  | 21<br>53% | 14<br>35% | 3<br>8% | 1<br>3%   | 1<br>3% |
| ・ケガをしたことがない。                             |  |           |           |         |           |         |

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

|                           | 満足                       | どちらかと<br>いえば満足 | どちらかと<br>いえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------|--------------------------|----------------|----------------|----|-----|-----|
| 施設設備については                 | 17                       | 20             | 3              | 0  | 0   | 0   |
|                           | 43%                      | 50%            | 8%             | 0% | 0%  | 0%  |
|                           | ・園庭の隣が藪なので、蚊が大量発生しているため。 |                |                |    |     |     |
| お子さんが落ちついて過ごせる雰囲気については    | 21                       | 16             | 3              | 0  | 0   | 0   |
|                           | 53%                      | 40%            | 8%             | 0% | 0%  | 0%  |
|                           |                          |                |                |    |     |     |
| 外部からの不審者侵入に対する備えについては     | 15                       | 21             | 3              | 1  | 0   | 0   |
|                           | 38%                      | 53%            | 8%             | 3% | 0%  | 0%  |
|                           | ・門がたびたび開いています。           |                |                |    |     |     |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 15                       | 22             | 3              | 0  | 0   | 0   |
|                           | 38%                      | 55%            | 8%             | 0% | 0%  | 0%  |
|                           | ・シラミの時に、地域ではやってるのか、園った。  |                |                |    |     |     |

#### 問6 園と保護者との連携・交流について

|                                   | 満足                          | どちらかと<br>いえば満足 | どちらかと<br>いえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 |
|-----------------------------------|-----------------------------|----------------|----------------|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については      | 5                           | 24             | 7              | 2   | 1   | 1   |
|                                   | 13%                         | 60%            | 18%            | 5%  | 3%  | 3%  |
|                                   | ・特に場は用意されていない。<br>・個別面談がない。 |                |                |     |     |     |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については | 14                          | 24             | 0              | 1   | 0   | 1   |
|                                   | 35%                         | 60%            | 0%             | 3%  | 0%  | 3%  |
|                                   |                             |                |                |     |     |     |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については             | 15                          | 16             | 3              | 5   | 0   | 1   |
|                                   | 38%                         | 40%            | 8%             | 13% | 0%  | 3%  |
|                                   |                             |                |                |     |     |     |

|   |                                 |     |     |    |    |    |
|---|---------------------------------|-----|-----|----|----|----|
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については                 | 12                              | 22  | 3   | 1  | 1  | 1  |
|   | 30%                             | 55% | 8%  | 3% | 3% | 3% |
|   | ・先生によって、まったく様子を伝えてくれない。         |     |     |    |    |    |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 12                              | 20  | 4   | 2  | 1  | 1  |
|   | 30%                             | 50% | 10% | 5% | 3% | 3% |
|   | ・「重要な情報」の定義が曖昧で、何を指しているのかわからない。 |     |     |    |    |    |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 13                              | 22  | 2   | 2  | 0  | 1  |
|   | 33%                             | 55% | 5%  | 5% | 0% | 3% |
|   | ・相談したことへの答えをいただけません。            |     |     |    |    |    |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 17                              | 19  | 1   | 0  | 2  | 1  |
|   | 43%                             | 48% | 3%  | 0% | 5% | 3% |
|   | ・遅くならないので。(2)                   |     |     |    |    |    |

#### 問7 職員の対応について

|                                 | 満足  | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------|---|------------|------------|----|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 20  | 16         | 2          | 1  | 0   | 1   |
|                                 | 50%   | 40%        | 5%         | 3% | 0%  | 3%  |
|                                 |   |            |            |    |     |     |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては     | 20  | 16         | 2          | 1  | 0   | 1   |
|                                 | 50%   | 40%        | 5%         | 3% | 0%  | 3%  |
|                                 |   |            |            |    |     |     |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 15  | 16         | 1          | 0  | 7   | 1   |
|                                 | 38%   | 40%        | 3%         | 0% | 18% | 3%  |
|                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりません(4)</li> <li>・どの程度の配慮があるのか把握していない。</li> <li>・アレルギーなし。(2)</li> </ul> |            |            |    |     |     |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 20  | 15         | 4          | 0  | 0   | 1   |
|                                 | 50%   | 38%        | 10%        | 0% | 0%  | 3%  |
|                                 |   |            |            |    |     |     |

|                |     |     |     |    |    |    |
|----------------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 意見や要望への対応については | 18  | 15  | 5   | 1  | 0  | 1  |
|                | 45% | 38% | 13% | 3% | 0% | 3% |
|                |     |     |     |    |    |    |

問8 保育園の総合的評価

|        | 満足  | どちらかといえは満足 | どちらかといえは不満 | 不満 | 無回答 |
|--------|-----|------------|------------|----|-----|
| 総合満足度は | 17  | 20         | 2          | 0  | 1   |
|        | 43% | 50%        | 5%         | 0% | 3%  |
|        |     |            |            |    |     |

保護者アンケート調査結果 (設問別 「満足度」 総合)

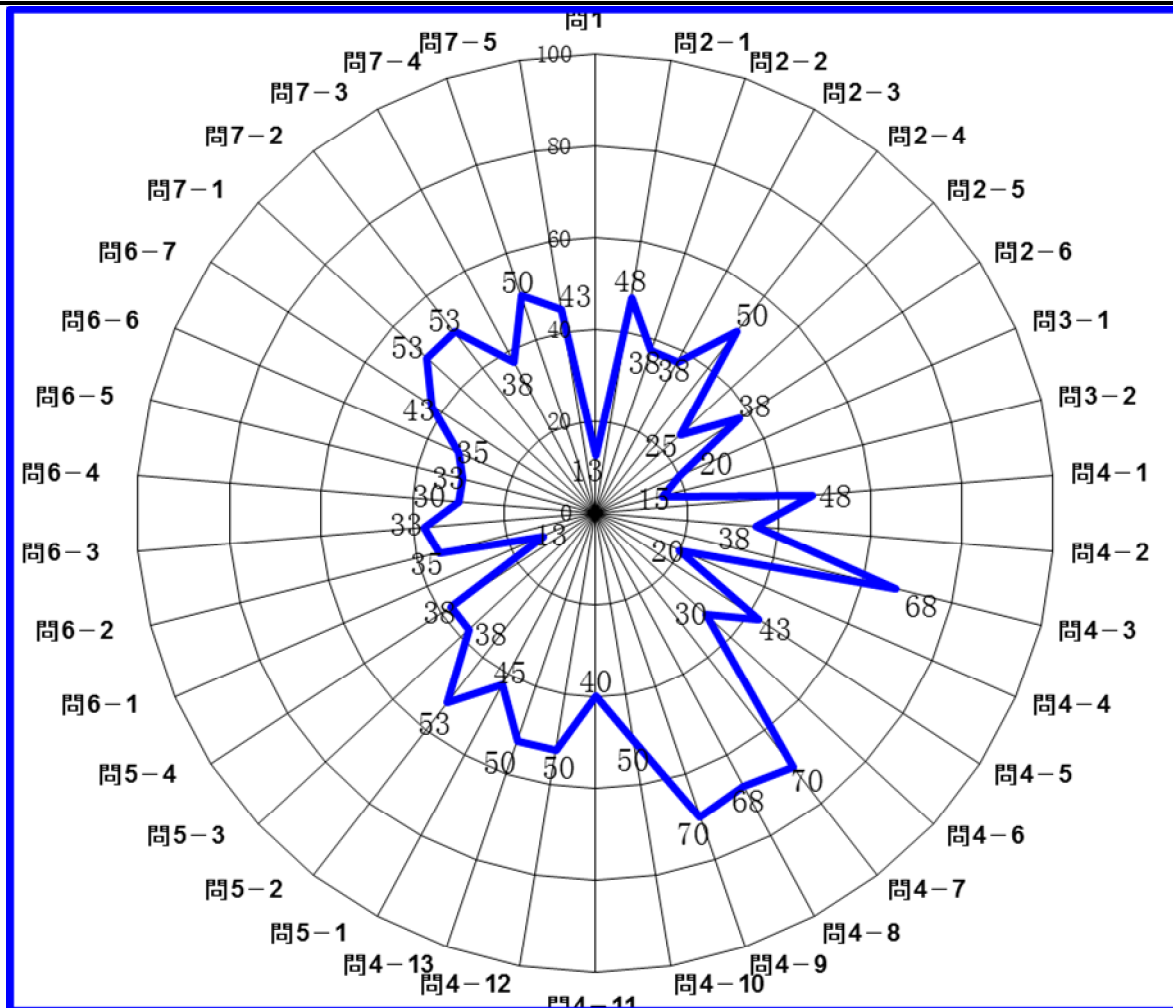
(注) レーダー数値は設問別「満足度」回答率 (小数点以下は四捨五入)

調査対象園舎: 小学館アカデミーなかやま保育園 横浜市緑区台村町 399

回答世帯数: 55 世帯中 40 世帯 <0 歳児(7 世帯)、1 歳児(8 世帯)、2 歳児(7 世帯)、3 歳児(9 世帯)、4 歳児(5 世帯)、5 歳児(3 世帯)、未記入(1 世帯)>

定 員 : 60 名

調査期間: 2015/10/31 ~ 2016/03/02



## 事業者コメント

施設名 小学館アカデミーなかやま保育園

施設長名 高橋 文江

### 《第三者評価を受審した感想》

第三者評価を受審することで客観的な視点で振り返ることができました。

園内で取り組んできたことに対し、良い評価をいただけたことに関しては、職員のモチベーションアップにもつながりました。

今後も引き続き取り組んでいきたいと考えております。

今後もよりよい保育園を作っていくために、職員一同保育スキル向上を目指していきたいと思います。

お忙しい中、受審にご協力いただきました保護者の皆さまならびに評価機関の皆さまに心から感謝いたします。

### 《評価後取り組んだ事として》

地域との連携に今まで以上に力を入れ、地域や他園との交流を積極的に実施しております。

良い評価をいただいたことに関しては、保護者さまによりアピールして、保育園の取り組みを知ってもらおうようにしております。

保育スキル向上のため、園外研修の参加、園内研修の実施をしております。